いしかわ労福協

第 526 号　2011年11月25日

発　行　所　　石川県労働者福祉協議会
発行責任者　　狩山　久弥
編　集　人　　上野　貞彦
〒920-0024　金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定　　価　　一部　20円
昭和39年3月30日　第三種郵便物認可

来年度の政策・制度等を県知事らに要請

谷本正憲石川県知事

石川県労働者福祉協議会は、10 月 24 日(月)25 日(火)にかけて津幡町、内灘町以北の能登地区、31 日(月)には野々市町以南の加賀地区の各自治体首長を、理事長職務代行者嶋垣利春副理事長を先頭に宮下亮専務理事、山口隆北陸労働金庫石川県副本部長らに加え、関係自治体の協力議会議員と地元地域ライフ・サポートセンター代表者が同行して訪ね、来年度の労働者福祉の向上に向けた政策・制度等に関する要請を行った。

首長らは、公務多忙の中にも係わらず快く面談された上、当労福協等が要請した事項について真摯に受け止められ、前向きな対応を受けた。また、一方で、首長らからは、自治体振興や市民の健康・文化の増進のため勤文協等事業の参加者拡大に向けた協力的な提案、労働者が働きやすい環境作りや障害者雇用の拡大に向けた取組に対する協力が示されるなど、市民の福祉向上に向けた要請活動となった。

和田慎司小松市長

寺前秀一加賀市長

山野之義金沢市長

油野和一郎かほく市長

粟貴章野々市市長

八十出泰成内灘町長

津田達宝達志水町長

さらに、11 月 10 日(木)には、狩山久弥新理事長体制として、谷本正憲石川県知事と山野之義金沢市長をそれぞれ要請のため訪ねた。

狩山理事長は、「労働者はもちろん、市民・県民の福祉の向上、より良い社会づくりのためにも、今回の要請事項の実現に理解と協力をいただきたい。労福協とライフ・サポートセンターは連携し地域社会に貢献できるよう努力していきたい。」と述べて、来年度に向けた政策の実現を強く求め今年度の要請行動を締めくくった。

要請の概要は次頁のとおり

平成24(2012)年度　石川県及び市町の施策に対する要請書(概要)

Ⅰ．石川県に対する要請事項

1．労福協「子育て支援ネットワーク」に対するファミリーサポートセンターの協力願い
石川労福協の「子育て支援ネットワーク」事業は、ファミリーサポートセンターの利用拡大につながる利用料金助成制度等を行っており、この事業の会員募集や活動報告書提出などに支援・協力をいただけるよう、各市町や当該ファミリーサポートセンターへの指導を要請します。

2．メンタルヘルス不調者に対して、各自治体での相談体制を強化する
近年、経済・産業構造の変化により、仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレスを感じる労働者の割合が高くなり、精神障害等による労災認定件数が増加しています。各自治体での生活相談コーナーにおいて、メンタルヘルス不調者の相談体制の強化について、各市町への指導を要請します。

3．男性の育児休業取得率の向上
男女とも、子育てをしながら働き続けられる雇用環境を整備することが必要ですが、男性の育児休業取得率は低い状況にあります。
男性の育児休業取得率向上のため、各市町や各業界に働きかけられるよう要請します。

4．食の安全に向けた取り組み
消費者に対する食品の放射能汚染などの問題にかかる適正な情報開示と、食の安全に関する消費者教育の実施と、「食の安全条例」の制定等、食の安全・安心行政の抜本的見直しを行われるとともに、県内産食品の「生産地表示」を義務付けられますよう要請します。

5．新公益法人の移行に向けた指導と支援
新公益法人制度に基づく特例民法法人の平成25年11月末までの移行について、県所管法人への指導と支援を要請します。

6．連合石川「2012年度対県要請」について
連合石川の「2012年度対県要請」に対して、誠意ある回答を要請します。

Ⅱ．市および町に対する要請事項

1．労福協「子育て支援ネットワーク」に対するファミリーサポートセンターの協力願い
石川労福協の「子育て支援ネットワーク」事業は、ファミリーサポートセンターの利用拡大につながる利用料金助成制度などを行っており、この事業の会員募集や活動報告書の提出などに支援・協力をいただけるよう、ファミリーサポートセンターへの指導を要請します。

2．メンタルヘルス不調に対して、各自治体での相談体制を強化する
近年、経済・産業構造の変化により、仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレスを感じている労働者の割合が高くなっており、精神障害等による労災認定件数が増加しています。生活相談コーナーにおいて、メンタルヘルス不調者への相談体制を強化されるよう要請します。

3．男性の育児休業取得率の向上
男女とも、子育てをしながら働き続けることができる雇用環境を整備することが必要です。しかし、男性の育児休業取得率は低い状況にあります。
男性の育児休業取得率を向上させるため、各業界や各企業に働きかけられるよう要請します。

4．食の安全に向けた取り組み
消費者への「食品の放射能汚染」の問題に関する適正な情報開示と、食の安全に関する消費者教育を行われるよう要請します。

5．中小企業労働者の福利厚生の向上について
主となる金沢市と内灘町が加入して運営されていますが、「金沢勤労者福祉サービスセンター」は、現在の会員や事業所は6市6町にまたがる現状から、加入を要請します。

6．地域ライフ・サポートセンターに対する支援要請について
現役労働者と退職者が一体となり県内9地域にて事業を展開し、地域の福祉の向上を目指す地域ライフ・サポートセンターへの支援と協力を要請します。

7．スポーツ、文化事業に対する支援要請について
石川県勤労者体育協会、石川県勤労者文化協会が主催するスポーツ競技や美術展等の事業に対して、各市町の共催、協賛、後援のほか、運動場、体育館、会館等公共施設の利用にかかる使用許可および使用料の減免措置等の配慮を要請します。

新理事長に狩山久弥氏を選出

11月7日(月)フレンドパーク石川において石川労福協第4回理事会が開催された。

先に開催された連合石川定期大会において、上田弘志氏が連合石川会長を退任し新会長に狩山久弥氏が就任されたことで、上田氏は石川労福協理事長の職を退くとともに理事を辞任されたことを受け、同理事会において、新理事長に狩山氏(連合石川会長)を満場一致で選出した。

狩山新理事長

狩山理事長は、就任にあたり「労働者の福祉と地位の向上のためにも労福協役職員と力を合わせ努力していきたい。」と挨拶した。

また、上田前理事長は、「理事6年理事長4年の通算10年間に亘っての皆さんのご協力に感謝する。」と退任の挨拶がされた。

理事会では、このほか、丸10年を経過したフレンド―パーク石川の運営や施設改修、子育て支援事業において「ろうふく“むすび”ネット」を婚活支援事業として実施することなど全ての議案は提案どおり承認され、狩山新理事長体制が始動した。

これからの行事予定

(11月25日現在)

開催日	曜日	行　事	会　場
11月25日	金	中央労福協　第60回定期総会	総評会館
26日	土	労福協・「ろうふく“むすび”ネット婚活パーティ」	金沢国際ホテル
		全国クレサラ・ヤミ金被害者交流集会	愛媛県
29日	火	勤文協　勤美展県庁展（～12月6日まで）	石川県庁　19階
12月7日	水	中部会館協議会　幹事会　（～8日）	岐阜県
8日	木	食とみどり水　総会	フレンドパーク石川
11日	日	勤労者互助会　「映画会（タンタンの冒険）」	ユナイテッド・シネマ金沢
14日	水	第5回理事会	フレンドパーク石川
16日	金	食とみどり水を守る全国集会（～17日）	愛知県
28日	水	フレンドパーク互助会総会	2階ホール
1月5日	木	労福協・連合石川　2012新春の集い	ANAホテル金沢

子育てネット

子育て支援メッセで、「ろうふくきょう・子育てネット」をPR

ボールすくいを楽しむチビッ子

10月29日（土）「子育て支援メッセいしかわ2011」が、㈶いしかわ子育て支援財団などの主催で県産業展示館3号館にて開催され、「ろうふくきょう・子育てネット」もこの事業に協賛しブースを出展した。

今回で10回目の開催となるメッセでは、「地域も企業もみんなで子育て」をテーマに109もの県内外の子育て支援団体や企業が出展し、それぞれの活動やサービス内容を紹介した。当日は天候にも恵まれ、来場者が途絶えることなく終日多くの親子連れで賑わった。

「ろうふくきょう・子育てネット」のブースでも、PRの一環として「スーパーボールすくい」を行ったところ、行列をなすほどの大盛況となり、多くの親子連れが訪れ、掲示したパネルやポスター、チラシの配布で事業をPRするとともに会員拡大に取り組んだ。

子育てネット　石井光江

ろうふくきょう・子育てネット

会員募集中　**ファミサポ利用料金の補助を受けられます**

○利用できる方

県内のファミサポ依頼会員として登録している「共働き」「働く一人親」の世帯の方

くわしくは、

労福協・子育て支援ネットワーク

石川県労働者福祉協議会

電話０７６-２６４－４６９９

http：//www.ishikawa-rofukukyo.jp/kosodate/

第23回連合石川定期大会

―復興・再生に全力を尽くし、「働くことを軸とする安心社会」につなげよう―

連合石川第23回定期大会が、10月28日（金）労済会館で開催された。

大会は、執行委員、代議員、谷本正憲石川県知事をはじめ多くの来賓らが出席するなか、冒頭、上田弘志連合石川会長が「活動に対する御礼と地域に根ざした労働運動の展開に引き続きのご協力をお願いすると共に、自身の連合活動19年の協力にお礼申し上げる。」と挨拶した後、議案審議が行われ、提案された運動方針など全ての議案が承認されたほか、任期満了による役員改選では、新会長に狩山久弥氏、新事務局長に浅野正氏、副事務局長・執行委員・常任執行委員らを選任したほか、スローガンが採択され、狩山新会長体制がスタートした。

狩山久弥新会長

浅野正新事務局長

蘇州市総工会主席が交代

石川労福協と1986年来の友好関係にある中国蘇州市総工会は、去る10月24日に開催された蘇州市総工会第14期第3回全委会において総工会主席の選挙を行い、新たに温祥華氏を選出した。

蘇州市総工会からは、早速、主席交代と就任の通知をいただき、労福協からは、温祥華氏の主席就任を祝うメッセージを届けた。

勤文協

『第61回勤美展』開催

石川県勤労者文化協会は、11月16日(水)金沢勤労者プラザにおいて第61回石川県勤労者美術展を開催した。

勤美展は、主催者、来賓等によるテープカットとくす玉割りでオープンし、日本画、洋画、書道、写真、手工芸の各部門から出品された計275点の力のこもった作品が公開された。また、会場には、池坊、草月の各流派から花が生けられ、会場全体に華が添えられるなど、来場者の目を和ませた。

なお、厚生労働大臣賞、石川県知事賞、石川県議会議長賞を受賞した作品は、11月29日(火)から県庁19階ロビーで特別展示される。

宮下亮勤文協副会長

安田初一石川県
労働企画課担当課長

若林昭宏
金沢市労働政策課長

審査員による合評

表彰式

大樋長左衛門勤文協会長が文化勲章を受章

石川県勤労者文化協会会長で陶芸家の大樋長左衛門氏は、11月3日の文化の日に皇居・宮殿において行われた文化勲章親授式に招かれ、天皇陛下から文化勲章を手渡された。

大樋会長は、大樋焼の伝統を生かしながら、新しい感覚あふれる陶芸の道を拓きながら、長年にわたって陶芸家として活躍してこられた一方で、勤文協設立以来の会長として、42年余の間、陶芸に偏らず、県内における美術愛好家の拡大と発展に活躍され、今日の勤文協の発展に寄与している。

第42回石川県勤労者

早春書画・生花展

開催期間：2012年2月2日(木)～2月5日(日)
展示会場：アートシアターいしかわギャラリーⅠ
(ラブロ片町7F)
作品受付：2012年1月28日(土)～29日(日)
アートシアターいしかわ会議室
(ラブロ片町7F)

くわしくは、
石川県勤労者文化協会
電話(076) 231－1746

日本画　洋画　書道　写真　手工芸

厚生労働大臣賞
『はす』
谷鋪 ちづ子〈金沢市〉

石川県知事賞
『燃ゆる』
鳥越 友江〈能登町〉

勤文協会長賞
『ぬくもり』
高野 郁子〈野々市市〉

金沢市長賞
『スターマイン』
今井 慶子〈金沢市〉

厚生労働大臣賞
『棚田のリズム』
越崎 順子〈金沢市〉

石川県知事賞
『キリコ乱舞』
南出 洋子〈小松市〉

勤文協会長賞
『棚田の風景「春」』
高倉 道昭〈金沢市〉

金沢市長賞
『町角のカフエ』
浜谷 豊久〈内灘町〉

厚生労働大臣賞
『聖書より』
鉢野 みち子〈かほく市〉

石川県知事賞
『柴田トヨ詩』
上野 幸子（幸流）〈金沢市〉

勤文協会長賞
『金子みすず詩』
中本 富子〈金沢市〉

金沢市長賞
『心外無法満目青山』
塩士 建夫〈金沢市〉

厚生労働大臣賞
『天空へ』
南野 宏一〈金沢市〉

石川県知事賞
『一服』
番字 一光〈加賀市〉

勤文協会長賞
『暁光』
土山 美枝子〈金沢市〉

金沢市長賞
『煌めく仲秋』
鍛治 敏弘〈金沢市〉

厚生労働大臣賞
『灯の道』
竹中 実〈金沢市〉

石川県知事賞
『映』
野村 淑恵〈金沢市〉

勤文協会長賞
『ローケツ染　蘭』
髙井 昭美〈金沢市〉

金沢市長賞
『陶華』
池田 亮〈金沢市〉

中部労福協研究集会

研究集会

中部12府県の労福協で構成する中部労福協は、10月20日（木）から21日（金）にかけて京都市内「アークホテル京都」において中部労福協研究集会を開催し、石川労福協からの５名を含む57名が参加した。

研究集会は、生活保護問題とベーシック・インカム（基本所得）を主な課題として講演を通じて行われた。

生活保護問題では、生活保護全国問題対策前項会議代表幹事で弁護士の尾藤廣喜氏が、東日本大震災で明らかとなった「貧困・生活保護問題」を説き、「社会の質は、もっとも弱き人がどう取り扱われるかによって決定される。『あの人たちの問題』ではなく『自分たちの問題』として考え行動するべきだ。」と結論づけた。

ベーシック・インカムでは、山森亮同志社大学経済学部教授が、「子ども手当制度を諸外国の例と比較しながら、基本的人権を満たすに足りる金額を無条件で給付することが必要であり、その上に労働や障害などによる他の給付がある社会があってもよい。」と講演した。

この研究集会に参加し、相談活動における生活保護問題の対応の有り様を考えさせられた。

県LSC　事務局次長　谷内英明

第42回県消費者大会

真剣に聞き入る参加者

石川県消費者大会実行委員会（県消費者団体連絡会ほか）は、11月11日（金）金沢市文化ホール大集会室において約120名の参加により42回を数える消費者大会を開催した。

大会は、最大の関心事である福島第１原発事故による放射能汚染、とりわけ食に与える影響などについて取り上げ、「今、気になる!? 放射性物質と食の安全性」をテーマに東京大学名誉教授で倉敷芸術科学大学学長の唐木英明氏を招いて講演と、ワークショップを行った。

講演では、唐木氏が「人間は直感的な動物で、思い込みによる誤解も多い。また、自分の身に危険や利益のある情報に敏感でメディア情報を信頼する人も多く、過度の危機感が生活を不安に導く。農薬や添加物などでは安全のために設定された値は、危険な物質が無毒となる量の100分の１よりさらに下回る値を規制値としており、規制値を少々上回っても即人体に影響を及ぼすことは考えにくい。と前置きし、今回の放射能汚染については、国が定める規制値である年間５mSv（ミリシーベルト）とは、100mSv以下のがん発症のリスクは事実上無視できるとする科学的知見から設定されたものだ。」と放射能の影響と食の安全性について、判りやすく説明した。引き続きのワークショップでは、参加した福島県出身の方などから、放射線管理区域内で生活している現状があるが、人体の安全は保たれるのか。１年間の食品中の放射性セシウムが500Bq（ベクレル）に引き上げられたのは妥当なのか。などの質問について、唐木講師は、１mSv内を確保することは理想だが、非常時での実行可能な措置が不可避である。基準値は、ICRP（国際放射線防護委員会）が幾つもの事例から示している値であり、信頼できると考える。食品中の放射性セシウムの基準値500Bqは0.008mSvに相当し、それを５種類の食品群に配分している。見直すとすれば大もとの年間５mSvの方だ。」などの質疑応答の後、青海万里子実行委員が「放射性物質については、いろいろな説があり、今日の講義では一つの考え方を示していただいた。別の説も聞いた上で判断し、参加者には、報道や風評に踊らされない賢い消費者であって欲しい。」と締めくくり大会を終えた。

講師の唐木氏

金沢ＬＳＣ

正倉院展とフリータイムの旅

2011年11月1日(火)金沢地域LSC旅行部会は、奈良県「正倉院展とフリータイムの旅」を実施した。

正倉院展が開かれている
奈良国立博物館にて

この正倉院展は東大寺の正倉にある6000点の宝物の中から選別し、毎年公開されており、今回は63回目で62点の宝物が公開された。(公開期間も17日間と短期間)。

参加者一行107名はバス3台に分乗し、秋本番、いにしえの都、奈良散策を楽しみに出発した。特に、秋晴れの好天に恵まれ、ろうきん友の会員はもちろん、現職の連合組合員の家族など老若男女が参加し、正倉院展、東大寺、興福寺、春日大社など、参加者が思い思いに自由に、奈良の秋や宝物を鑑賞し、自己研鑽した。健康的な旅だった。

金沢地域LSC　事務局長　谷内英明

社会福祉法人へ寄贈(フェスタ売上金など)

寄付金を贈呈する
安村LSC事務局次長

11月4日(金)、金沢地域LSCのボランティア部会を代表し、北陸労働金庫本店営業部長安村裕之氏と金沢地域LSC事務局は、金沢市土清水町に新築移設した社会福祉法人ゆい(理事長柚木光氏)を訪ね、10月1日実施した「ありがとう10周年ろうきんフェスタ2011」の売上金￥32,400円(ちびっこゾーンの売上金全額)と7月8日に開催した親睦ゴルフ大会のチャリティ募金￥15,570円の計￥47,970円を寄贈した。

施設長の深田武志氏から「皆様の善意を子どもたちの為に大切に使います。」と感謝の言葉を頂き、施設を後にした。

金沢地域LSC　事務局長　谷内英明

白山・野々市ＬＳＣ

より地域と密着した活動を！といろいろな行事を企画・実行している中で定番になった「白山･野々市地域LSC親睦BUS(バス)ツアー」は、10月22日(土)午前6時30分に参加者43名を乗せてBUSが発車した。

今年は紅葉には少し早い時期でしたが、参加者は、信州紅葉散策と果物狩りで、家族や職場の仲間同士といつものように一日終始和やかな雰囲気での旅行となった。

善光寺境内にて

目的地の一つ「信州長野善光寺」では、皆さん、神妙に手を合わせて何かを願っていました。何と言っても今年の東日本大震災や福島原発事故等など復興の願いや家族の願いなど様々だったようです。

一日も早く以前のような生活に戻って、幸せな日々を送って欲しいものです。

次に小布施を周遊してリンゴ狩りとお土産を頂戴して帰路につき、午後9時前には自宅に全員戻り楽しい一日を過ごすことができた。

お世話いただいた方々に感謝・感謝です。

白山・野々市地域LSC　会長　油省三

清掃ボランティア

ごみ拾いを終えて「ご苦労様」

白山・野々市地域ライフ・サポートセンターのボランティア部会は、10月23日(日)白山市の一斉清掃デーに併せて、早朝7時より連合石川かが地協の組合員も含めて35名の参加で松任城址公園とその周辺の清掃活動を行った。

松任城址公園は、昨年からの整備でキレイになり、ゴミ・空き缶等が少なかったので、清掃の範囲を近くのJR松任駅周辺にも拡げて実施した。

清掃では、植え込みの中、道端には紙袋やタバコの吸い殻などが捨てられており、短い時間だがゴミ拾いに精を出し、街をキレイにする活動ができた。

白山・野々市地域LSC　事務局　山下芳子

七尾鹿島ＬＳＣ

ウオーキング大会

秋晴れの３連休の初日の10月８日(土)、七尾鹿島ライフ・サポートセンターは、恒例となった第６回七鹿LSCウオーキング大会を希望の丘公園で開催し、約40名の参加者と共に、約１時間のコースをクイズラリーを行いながらウォーキングし心地よい汗をかいた。中でも子どもたちは元気いっぱいで走り回り、日頃、運動不足がちな父親たちが追い付くのに大変な一幕もあった。

今回は、主催者が設定したコースタイムに対し、ジャストで到着されたチームがあり、大変盛り上がった。その後のバーベキューでも、皆さんは食欲をいかんなく発揮してくれていた。

ウオーキング後の楽しい栄養補給

気がつけばあの暑かった夏も過ぎ去り食欲の秋となってきたが、このウォーキング大会のように美味しく食べ健康に過ごす為にも、ウォーキングをして爽やかに過ごしてみませんか。

七尾・鹿島地域LSC　事務局長　井村幸喜

河北ＬＳＣ

河北地域ライフ・サポートセンターは、地域との交流を深めることを目的に、10月30日(日)津幡町竹橋の「源平の郷　倶利伽羅塾」で開催された「ござっさい祭」に参加した。

賑わいをみせたLSCの出店

ライフ・サポートセンターでは、物品販売コーナーを設けて、リンゴ、バナナ、玉子、ラーメンなどを市価よりも廉く販売し多くの来場者に喜ばれ、開店１時間ほどの間に売り切れとなる盛況とった。

会場には、この他に地元農産物の販売コーナーなどが出店され、家族連れなど沢山の来場者で賑わった。

河北地域LSC　事務局　吉川武久

秋季名所めぐり

河北地域ライフ・サポートセンターは、バスによる秋季名所めぐり(松任編)を11月６日(日)あいにくの小雨の中、開催した。

当日は、総勢32名の参加者となり、昨年の倍の人が集まった。

昼食を終えて、いざ後半へ

コースは、千代女の里俳句館～中川一政記念美術館～暁烏敏の生家、明達寺～御経塚遺跡～りんご園等を廻った。

松任までの車中や移動時間に、津幡ふるさと探偵団の桑江さんの名解説で一層の判りやすく見聞を深めた。

特に、中川一政記念美術館では「正念場ー今を生きる力ー」と題した開館25年記念特別展が開催されており、中川画伯の22歳から97歳までの絵が展示されていた。展示作品には、97歳で描いたとは思われない力強さに圧倒されるものもあった。

暁烏敏の「10億母の歌」

十億の人に十億の母あらむも
　　わが母にまさる母ありなむや

河北地域LSC　事務局　吉川武久

勤　体　協

第45回県勤労者秋季体育大会９人制バレーボール加賀大会(10月30日・加賀市スポーツセンターほか)

▽男子　①新風②BLOODSTONE③Michel－Reo、国府クラブ▽女子　①加賀クラブ②V☆L③BONDS、ORANGE

第45回県勤労者秋季大会卓球七尾大会(11月６日・七尾市中島体育館)

◇硬式▽男子　①余喜あっちゃんズA②余喜あっちゃんズB③卓志会A、档の会▽女子①NOTOヤンキース華②勤体協③档の会、NOTOヤンキース星◇ラージボール▽男子　①能美クラブ②白山クラブ③①のときりしま、内灘クラブ▽女子　①内灘クラブA②羽咋卓友会③七尾スターズA、内灘クラブB

第45回県勤労者秋季大会第11回クライミング大会(11月６日・KCウオール)

◇一般▽男子　①畠中実(金沢)②加川政男(白山)③北川利章(金沢)▽女子①中島亜希(金沢)②北川律子(同)③田中弥生江(野々市)◇シルバー▽男子　①鷺池幸司(金沢)②田村晃(白山)③塚本吉弘(金沢)▽女子①畠中郁美(金沢)②岡田美智江(野々市)③中前紀代美(金沢)◇ゴールド▽男子　①中島昭二(金沢)②永井武司(能美)③清水静治(白山)

※この機関紙は再生紙を使用しています。